

はい。皆さん。私、光本が  
Baguio JICのワーホリ準備  
コースが更にパワーアップ  
しちゃった件について解説し  
ます！！

2018年2月15日



## 授業の内容と3つの特徴



1:1

ワーホリ専門

**2時間**



1:1

通常マンツーマン

**2時間**



グループ

ワーホリ専門

**2時間**



グループ

通常グループクラス

**2時間**

\* 4週間で完結するプログラムとなっています。



課外活動

インターンシップ

**21時間**

に増えました。

### 1 ワーホリ専門クラスで 細かいニーズに対応

ワーホリ専門マンツーマンでは、渡航国別の情報や自己分析、レジューメ作成、面接練習といった個別に行ったほうが効率のいい学習を行う。グループクラスでは、仕事現場を想定したシュミレーションを行い、実践力を養っていく。

### 2 通常クラスで あなたの英語力を磨こう

オススメのグループクラスは、ネイティブ講師と会話ができるコンバセーションクラスだ。ネイティブとの会話、日常使う表現に慣れておくことで、あなたがワーホリで欧米圏に行ってもスムーズに馴染むことができる準備を積むことができる。

### 3 現地のカフェで インターンシップ

Baguio JICならバギオにある人気のカフェでの就業体験ができます。ここで、より実践的な英語力を鍛えて欲しい。また、バリスタの体験もできる。この期間は、あなたのワーホリを支える貴重な時間になるはずだ。



## カフェ・インターンシップ



実際にカフェでインターンをすることが可能。カフェアートの手法も学べるので欧米諸国でワーキングホリデーを行う前に実践的なトレーニングを積みたいという人にはとてもおすすめのプログラムだ。合計で21時間の履修が可能だ。

必須履修時間：21時間（1日／7時間）

履修日：週末（3週に渡って実施）

履修場所：バギオにあるカフェ

証明書：発行可能

費用：3000ペソ（ワーホリ準備コースの方）  
4000ペソ（上記以外のコースの方）

\*材料費、ユニフォーム費等込

あなたならではの「おもてなし」を発揮してみよう！  
実践的な英語を話してもらうのが目的です。



バリスタ体験も可能！



オーダーを間違えないように！



\*卒業される1ヶ月前での受講を推奨しております。

当校の卒業生であるHITOMIさん（左）



## 公式に証明書も発行される！

Baguio JICは、研修先であるカフェと公式な契約を結んでいる。そのため、証明書も発行することが可能だ。証明書の中には、あなたが何時間インターンシップを行ったかも記される。欧米諸国で仕事を探す際に、就労経験を証明するひとつの手段になるはずだ。ぜひ活用してほしい。

君の力を  
証明しよう!!

### 彼女からのコメント：

コーヒーに関して全く知識がなかったのですが、コーヒー豆のことから作り方まで丁寧に教えて頂きました。私の場合は、スチームミルクがうまくできず、すごく難しかったです。指導も全て英語なので、夢中になってやれます。また、授業とは違った形なので、気分転換にもなり楽しく受講できました。



## 4週間でどれくらい成長するのか？

ワーホリには英語力のみならずコミュニケーション能力や職務における実践力も非常に重要な様相になってくる。では、JICのワーキングホリデーコースではどれくらい成長できるのか疑問に思う方も多いただろう。

この章では、あなたが4週間のプログラム履修でどれくらい成長できるのかサンプルストーリーをご紹介します。未来の自分の姿を想像する助けになるはずだ。

なおこちらのサンプルプランでは、カフェでのインターンシップを履修する学生をモデルにしている。



明確な目標が  
励みになる!!

1 week

### まずは、自分を知らう！

第一週目は、自分のことを良く知ることから始まる。マンツーマン授業では、自己分析の仕方を学び、英語でしっかりと自己紹介ができる状態を作ると同時に空港やレストランで使える英語を学ぶ。グループクラスでは、空港入国時の対応や私生活で活用出来る英語などを学ぶ。週末は、ボランティアに参加してみよう。

2 week

### 渡航国について知らう！

第二週目は、渡航国に焦点を当てる。マンツーマンクラスでは、職業や働く地域の選択や銀行口座の開設方法などを学ぶ。グループクラスでは、マンツーマンで学んだことをフィードバックする。週末は、カフェでのOJTプログラム（前半4時間）に参加し、実際の職場で英語を使ってみよう。

3 week

### 仕事の種類や必要なスキルについて知らう！

第三週目は、より実践的な内容に入る。マンツーマンクラスでは仕事の探し方や実際の現場で使える英語を学ぶ。グループクラスでは、職場を想定したロールプレイングを入れ込み学んだ英語を実際に使う練習をする。オンラインで仕事を探しも行う。週末は、カフェでのOインターンシッププログラム（21時間）に参加し、さらに実践感覚を磨こう。

4 week

### 仕事の種類や必要なスキルについて知らう！

第四週目は、いよいよ最終段階に突入だ。マンツーマンクラスでは、レジュメ作成の仕上げや面接の特訓を行う。グループクラスでは、ロールプレイングを重ね、クラスメートとの意見交換も行う。オンラインでアプライができる業種には実際に申し込んでみる。さあ、これで準備は整った！

## おすすめのプラン

英語が全くできない学生がいきなりワーキングホリデーを履修するのは、レベル的に難しい部分がある。そこでこちらではワーキングホリデーを受講するにあたっておすすめのプランをご紹介します。

学んだ知識を効果的に活かし、ワーキングホリデーにいても苦労しない状態を作るためにもぜひ検討してほしいプランだ。

学習スタイルに  
合わせて選ぼう！  
Baguio JICの強みである！



## がっつり学びたいサキさんの場合

英語短期修行コース  
4週間～8週間



ワーキングホリデー  
準備コース  
4週間

JICの超初級者用コースでがっつり基礎知識を詰め込んでから、ワーキングホリデー準備コースにチャレンジするプラン。英語力がほぼゼロで、平日外出禁止の環境でも頑張れるという方はこちらをお勧めする。



## ゆったり学びたいアユミさんの場合

バランス重視コース  
または  
マンツーマン重視コース  
4週間～12週間



ワーキングホリデー  
準備コース  
4週間

スピーキング力の向上に特化したバランス重視コース（もしくはマンツーマン重視コース）で英語に慣れてから、ワーキングホリデー対策に挑戦するプラン。強制自習や単語テストなどに縛られずに自分のペースで勉強したい方はこちらのプランが最適だ。

## まとめ

いかがだろうか？

Baguio JICのワーキングホリデー準備コースなら欧米圏に行った時も自信をもって働けるほどの力が身に付くことをお分かり頂けたと思う。

英語とは、単なる学問ではない。コミュニケーションのツールである。どんなにITが発達しても、人と人との繋がりが絶えることはない。

ワーキングホリデー準備コースから得られるものは、実際の現場で使える英語力の習得である。

全く英語力も就労訓練もない状態でワーキングホリデーに赴き、つぶれていく学生は数多くいる。例え現地に残ったとしても、日本人が多い日本食レストランやほとんど英語を伸ばすことができないファームでの就労に留まる人が大多数だろう。

あなたがワーキングホリデーから得たいものは、アルバイト代だろうか？もし違うなら、貴重な時間を無駄にしないためにもJICのワーキングホリデー準備コースでしっかりと準備を行うことをおすすめする。

